

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年3月12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	鹿児島県指定 第4675400115号
法人名	医療法人 拓和会
事業所名	ろうけん大楠グループホーム たんぼぼ
所在地	鹿児島県始良市蒲生町下久徳1251番地 (電話) 0995-54-3101
自己評価作成日	平成26年2月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、介護老人保健施設や居宅介護支援事業所と隣接し、母体事業所との連携体制も整っており、安心して生活できる環境です。天然温泉があり、入居者がゆっくりと楽しめる環境があります。明るい職員が多く、入居者一人ひとりが、自分らしく生活できる環境づくりを目指しています。

職員と入居者が共に支え合いながら、食材の買出しや、ドライブなど楽しんでいます。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年3月5日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は医療法人グループの一つで、同法人の介護老人保健施設や居宅介護支援事業所などが隣接している。
- ・地域の行事に積極的に参加し、事業所の行事にも地域住民の参加がある。また中学生や高校生のボランティアの受け入れも行い、地域との交流を図っている。
- ・協力医療機関との定期的な往診や緊急時の対応等の体制が整っている。
- ・災害対策として、定期的な避難訓練を実施している。安全対策の整備がなされ、隣接している同法人の各事業所間の相互協力関係が構築され、地域住民との協力体制も整っている。
- ・管理者は話しやすい環境を整えて職員とのコミュニケーションを図り、職員の意見や気づきを積極的に取り入れている。就業環境の整備やサービスの質向上に繋がっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	管理者と職員は毎朝、理念を暗唱し、日々の介護の中で実践に繋げている。理念は見やすい所に掲示している。	地域との関連性を重視した独自の理念で、玄関等に掲示している。朝礼時に唱和し理念が職員の意識の中に根付いており、何かあるたびに理念に基づいたものかを振り返っている。理念に基づいた年度毎の目標を立て、重点的に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所は自治会に未加入のため、地域と日常的な交流はできていないが、誕生会等の行事では、地域のボランティアが来られたり事業所の夏祭りでは地域の方が来られる。	地域の行事には積極的に参加している。法人全体の夏祭りなどの行事には多くの地域住民の参加がある。中学生の職場体験や高校生のボランティアの受け入れなどを行い、地域との交流を大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の高校生の職場体験学習や、中学生のボランティア学習の受け入れを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者、利用者の家族、役所職員、民生委員の方々の協力を得、活動報告等を行っている。また、話し合った内容を議事録にまとめたり、職員に報告して共有しながら、改善や実践に取り組んでいる。	会議は定期的開催している。ホームから利用者状況や活動報告・これから取り組もうとしている内容、外部評価結果の報告などについて報告を行い、消防署の指導のもと、避難訓練を兼ねて行う場合もある。会議での意見や提案をサービス向上に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	公的機関としての立場であり、協力し合いながら連携を深める関係構築には、至っていないと感じるが、推進会議等でアドバイスや情報などは頂いている。	市や地域包括支援センターの担当者とは利用者の処遇に関する相談をこまめに行い、利用者のプランの見直しや困難な事例の情報を交換してアドバイスももらっている。市主催の研修会にも積極的に参加し、協力関係が築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会をつくり、グループホーム会議で、発表したり、法人内研修で理解し、玄関の施錠、身体拘束はしていない。身体拘束のみならず言葉づかいにも気をつけている。	ホーム内に身体拘束廃止委員会を設置している。法人の研修会で理解を深め、共通認識を図っている。昼間は玄関の施錠はせず自由に出入りできる。職員間の連携で安全な暮らしを支援している。言葉による拘束に注意し合う等、身体拘束をしないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者・全職員は高齢者虐待防止法について、法人内研修で学習し、利用者対応を振り返り、虐待に対する意識付けを行なっている。日々のケアの中で虐待に注意を払い、特に、言葉による拘束、暴言、虐待が精神的苦痛やストレスを与えることを認識しながら対応している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。	管理者・職員は、グループホーム会議等で学ぶ機会をもっている。権利擁護については、法人内研修で学習している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時、ケアへの取り組みや「重要事項説明」に基づき、利用者の状態変化時や、退去時の対応など説明、ご家族の希望など契約時に話し合い納得していただき同意を頂いて、利用者・家族の不安・疑問点について説明を行い、安心して入居できるように支援している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱を設置しているほか、入居者の意見や不満は、日常的に発言できるように働きかけ声かけも行なっている。御家族の相談も受け納得のいく対応に努めている。	利用者の意見等は、日常の関わりの中で汲み取るように努め、日頃から何でも言ってもらえる雰囲気作りに留意している。家族には運営推進会議で意見を聞いたり、電話連絡時や面会時に管理者から気軽に声かけして状況等の報告を行い、要望等を話してもらえるよう働きかけている。出された意見や要望等は職員で話し合い、日々のケアに反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月一回、グループホーム会議とケア会議を行っている。管理者は、職員の日々の行動の変化に気をつけ、コミュニケーションが図れるよう努めている。	管理者は日頃から職員とのコミュニケーションに配慮し、毎月の会議等で職員の意見や気づきを聞く機会を設け、その反映を図るよう心がけている。ケアや行事運営に関する職員の意見等が活発で、全員で改善に取り組んでいる。職員の様子等で気づいたときは個別に声かけして相談にのっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の健康状態や疲労等への配慮をし、勤務条件等の意見も取り入れたりしている。向上心をもって、意欲的に働けるように支援している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内外で開催される研修にはなるべく多くの職員が参加できるように声かけを行なっている。研修後に、研修報告書を提出、ケア会議やGH会議等のなかで、職員に報告したりしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域のグループホーム協議会に登録し、管理者は、研修会や講演会を通して積極的に交流を図っている。近隣のグループホームと交流の機会をもち、さまざまな課題・問題解決について話し合う機会が増えた。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時は特に、コミュニケーションをもつように心がけ、不安にならないように、本人の居場所をつくり、安心していただけるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人様と家族の関係を理解し、不安なことや今後どのようなことを望まれるか傾聴し、関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時ご本人の様子、状況聞き、ご家族の意向などを確認、必要に応じて他のサービスを利用できるよう在宅サービスを中心に案内・紹介している。また、相談時点でパンフレットによるグループホームの案内もしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活する家族のような者として互いに協力し合いながら、出来ることはご自分でしていただきながら、入居者に可能なお手伝いをお願いしたり、食事の買い物等に同行して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話やお便り、面会時などを通じて、日常生活など様子などをお伝えし、家族の絆を大切にさせていただけるように支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人など面会に来ていただけるような雰囲気作りや馴染みの場所を訪れたり思い出話などを聞いている。	訪問しやすい雰囲気作りに努めて、馴染みの友人や知人の訪問がある。遠方の家族等との電話取り次ぎや自宅訪問等を行い、これまでの関係を継続できるよう支援している。家族の協力を得て墓参や馴染みの店への買い物なども支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者の性格や日常の関係について、全ての職員が共有できるようにしている。気の合う入居者同士の席を考慮したり、助け合う姿を見守りながら、間に入って話を進めたりしながら、関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	やむなく入院された方など、お見舞いや、容態等、ご家族との連絡をとったり関係がとぎれないように努めている。お葬式などに参列させていただいているが、その後の支援はなかなか出来ているとはいえない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話や過ごし方の中で、入居者の意向をくみ取るように心がけている。また、ふとした言葉・仕草・表情が変化する場合を見逃さない、感じ取る「気づき」を大切にしている。	家族や知人からの情報や生活歴を参考に、日常の関わりの中で、利用者の言葉や表情等から思いや意向を把握するように努めている。意思疎通が困難な場合は、ケア会議や引継ぎ簿で情報を共有し、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居にあたって、入居者や御家族にこれまでの情報をいただき、また、面会時や日々の会話の中で話題にしたりして経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者それぞれの生活パターンを観察し、能力や意欲に応じた日課や活動を支援している。体調や気分によってもムラがあるので、状態を観ながら強要しないよう柔軟に対応し、カンファレンスを開いて検討している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎月1回ケア会議を行っており、それぞれの意見をふまえ、ケアの見直しを行ったり、ケアプラン作成にあたっては、本人・家族の要望や意向を伺いながら職員を交えたサービス担当者会議で介護内容や目標設定を具体化している。</p>	<p>本人や家族の意向を確認しながらサービス担当者会議で話し合い、主治医の意見も取り入れて、個々に応じた介護計画を作成している。モニタリングは毎月のケア会議で実施し見直しに繋げている。状況変化等がなければ、6ヶ月毎に計画を見直している。状況が変化したときは現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケア会議にて、各担当者の日々の気づき、出来たこと・出来なかったこと発表し、他の職員の意見をだしてもらい検討し、実践できる様に申し送りやなんでもノートをいかし記録にのこしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>体調不良時の通院や薬の依頼・受け取りなど職員が支援している。本人や家族の状況・ニーズに対応し、レクリエーションなど、変化させ柔軟なサービスに取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域で行なわれている、どんと祭りや、蒲生市などに出かけたり、地域のボランティアの訪問をうけたり、民生委員や消防署の指導をうけ、火災訓練など実施している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や御家族の希望するかかりつけ医の定期的な受診の継続やご家族の同行不可能時や緊急性のある場合は、職員が代行するようにしており、御家族には、受診報告も行なっている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。必要な時は受診に同行している。家族にはその報告を行っている。緊急時の対応には連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員と看護職員は、日々の情報交換を行い、細かな観察記録・バイタルチェックが行なわれている。また、関連病院の医師や看護師と日常の健康管理や往診を通して情報提供や連絡体制などの連携に努め、良好な関係を構築している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、継続介護連絡表を病院に渡し、情報を共有する。入院時も洗濯物等持参時、病院関係者と情報交換・把握をし、今後の相談、見通しなど行い、早期退院に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化への変化については、面会時や電話等で、御家族に伝え、共有している。主治医の意見も取り入れながら、ご家族の意向をふまえ、段階を経て、事業所で出来る事、御家族に協力頂く事など話し合っている。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。看取りについては状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、主治医や看護師・職員で連携して支援している。職員全員がその方針を共有している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の指導による、救急講習（心配蘇生法・ハイムリック法・骨折・止血法）の実践。自主訓練も行いながら、緊急連絡網の整備、研修を実施しマニュアルにそって行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を、夜間・昼間の想定で行っている。併設施設の協力、民生委員への協力は依頼しているが、ご近所の方との協力体制は築けていないと思う。定期的に避難訓練をし、入居者も参加している。</p>	<p>消防署の指導のもと避難訓練を、昼夜間想定で実施している。災害時の備蓄については、隣接の介護老人保健施設で一括管理しているし、災害時の協力体制も整っている。地域の協力体制は準備中である。スプリンクラーや防災設備もなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>面会時等、居室のドアを閉めてプライバシー保護に努めたり、電話の取り次ぎなど、居室で会話できるように配慮している。トイレは、カーテンなどを使用し、プライバシーを確保している。</p>	<p>人格やプライバシーを損ねないよう言葉かけや対応に留意している。本人の呼びかたや言葉づかいは、一人ひとりに応じた対応に努めている。居室での面会や電話時はドアを閉める等、プライバシーの確保に努め、個人記録等は事務室に保管している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>本人の能力に合わせた対応をしている。時間をかけて信頼関係を構築し、日常生活の中で本人の意思で主体的に行動や選択が出来るように支援し、入居者の気持ちなど傾聴している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員は入居者が一日をどのように過ごしたいかを身体・精神的側面から見極めて、主体的に行動できるように支援している。一人ひとり個人にあった楽しみをみつけていけるように務め、入居者の過ごし方に合わせて、入室やリビングの行き来は自由である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	お化粧をされたり、洗面所では、いつでも整容できるように、くしがある。また、美容室の出張サービスを行い、それぞれにあった支援をおこなっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえや配膳、お茶碗集め、台拭きなど入居者と一緒に行なうように努めている。味見などもお願いしている。献立に好きなものを取り入れたり、個別に対応している。	栄養士の献立を基本に、利用者の希望に添った献立を作っている。利用者の力量を活かして、職員と一緒に準備や後片づけを行っている。利用者個々の健康状態に応じて食事形態を変えたり、誕生会や行事食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は、管理栄養士の立案したものを参考にし、食べる量、お粥、形態（ミキサー、刻み）などの工夫や、医療管理上の制限がある方もおり、個々に合わせた支援ができるように心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは、一人ひとりに理解して頂き行っている。出来ない方には、スタッフが責任を持って実施し、義歯は夜間に消毒している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄は、自己管理能力や排泄パターンに応じて、排泄用品の提供・服薬（緩下剤）・声かけ・誘導・排泄チェックを行なっている。出来るだけ、トイレ使用を心がけている。	個々の排泄パターンを把握し、声かけや誘導によるトイレでの排泄を大切にしている。食生活を工夫し、自然排便に取り組み排泄の自立に努めている。排泄の失敗は、その都度、取り替えることで対応し、安易にオムツを使用しないよう努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルトや野菜ジュースを取り入れたり、軽体操・日常の動作・家事に伴う運動により、予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調や状況に合わせて入浴支援を行い、本人の意思確認を取りながら入浴していただいている。音楽を流したりして、温泉をゆっくり楽しめる環境を作っているが、日常的に一人ひとりの要望やタイミングにあわせることは難しい。	利用者の体調や気分に合わせて、最低週3回は入浴できるように支援している。職員の見守りや介助を受けながら、ゆっくり天然温泉で、個々の体調や希望に添った入浴を楽しめるように支援している。失禁の際は即対応している。要望で同性介助の支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者は、リビングと自室を自由に移動でき、いつでも休息したり、昼夜問わず、入床・入眠できるよう支援し、質の良い睡眠をとって頂く為、入眠前、刺激の少ない環境作りに努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、入居者の薬状書を把握している。服薬は、入居者の能力に合わせ、確実な確認を行なうようにしている。症状変化にも、すぐに対応出来るよう、主治医との連携もとれている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ・軽掃除・食事の下準備など、安全の範囲で協力して頂いている。個人の力に合わせた役割をお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>敷地内の花壇の手入れや本人の希望にそって散歩や、買い物・ドライブ等に出かけている。お墓参りや、自宅を見たいなどの希望があるときは、御家族に協力いただいたり、職員と出かけたります。また、野外活動で、花見やそうめん流しを行なっている。</p>	<p>敷地内の散歩を日課にしており、隣接施設の知人を見舞いに行くこともある。ドライブや買い物、希望により墓参り等、週3回は出かけるようにしている。年間行事の外出は家族にも呼びかけて花見や地域のイベント、ソーメン流しなど支援している。墓参にも家族の協力を得て出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>大部分の方が金銭の管理や日常の出納が難しくなっているのも事実であるが、金銭管理の出来る方は、蒲生市や外出時に、買い物をされる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>御家族から定期的にお電話くださったり、ご本人も日常の様子を話されたり、御家族からの贈り物が届いたりするとお礼の電話をされたりされるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングでは、いつも季節を感じていただけるように花を飾り、入居者と一緒に壁面を作った飾りして季節感がでるようにしている。</p>	<p>リビングは台所と一体化しており、利用者が自然な形で調理等に参加している。玄関から見える花壇やリビングに飾られている花や作品で季節を感じることができる。加湿器の使用や夜間は洗濯物でリビングの湿度を調整する等、快適に過ごせる工夫がされている。玄関入り口に椅子や長椅子が置かれている。共用空間は天窓で換気や採光に配慮し、掃除が行き届き清潔である。広いホールには花が飾られ季節感がある。ソファが多く置かれ、居心地よく過ごせるような工夫がしてある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>椅子や長椅子など思い思いにご自分の都合に合わせてくつろいでおられたり、気の合った同士語り合っていたり、玄関先の長椅子にかけられ花壇の花をみたりして、ゆっくりとされている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の写真を飾ったり、家具の配置を使い易いように工夫している。</p>	<p>畳と床の部屋があり、ベッド、タンス、押し入れを備え、寝具はリースで用意されている。障子の柔らかい光で明るい居室に、位牌やテーブル等の家具及び写真を飾って居心地良く過ごせるようにしている。ベッドやクローゼットは備え付けである。タンスなどが持ち込まれ、安心して生活できる配慮をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの体調に合わせた配慮、洗濯物や料理の下準備等お願いしている。リビング・浴室・トイレに手すりがついている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない